

脳腫瘍手術における経鼻手術における追加アプローチの有効性の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2023年9月25日～2028年3月31日

〔研究課題〕

脳腫瘍手術における複合的経鼻アプローチの有効性の検討

〔研究目的〕

脳腫瘍のうち、特に下垂体、頭蓋底腫瘍では、鼻腔を介して病変に到達する経鼻経蝶形骨洞手術が行われていますが、大きな腫瘍や、広く浸潤した腫瘍に対しては、追加のアプローチが必要となることがあります。そのような腫瘍に対して行った追加アプローチとその手術成績を明らかにして、手術の有効性を検証し、その手術の安全性・有効性を向上、そして周知させることを目的とします。

〔研究意義〕

脳神経外科手術のうち、経鼻手術は低侵襲治療として適応が拡大しつつあります。ただし狭い手術回廊での操作のため、大型の腫瘍や広範囲伸展した腫瘍の摘出が困難であることがしばしばあります。このような症例に対して、有用なアプローチを検討・検証していくことで、経鼻手術の安全性、確実性が向上することが期待されます。

〔対象・研究方法〕

・研究デザイン:本研究は、2013年1月から2023年7月の期間に手術したデータを元に検討する、後ろ向き観察研究です。

・対象:当院脳神経外科で手術施行した手術症例のうち、経鼻手術を行った脳腫瘍患者様。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 脳神経外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本研究に係わる全ての情報の取り扱いには研究対象者の秘密保護に最大限配慮します。個人情報をデータ化する際は、患者氏名及びカルテ番号を被検者識別コードに変換します。この際、個人情報との連結表であります「匿名化番号対照表」のデータファイルを作成し、情報管理責任者が厳重に管理し、研究データの照会時のみに用いられます。研究の結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報は含まれません。研究期間終了後、研究に用いた資料は、帝京大学臨床研究センター（TARC）に提出され、以後5年間保管の後、すべて破棄されます。情報使用拒否の申し立てがあった情報については使用しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 後藤芳明 (帝京大学医学部脳神経外科学講座講師)

住所: 〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科

TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 7379]